

HEARTFUL NEWS vol.56

『商魂たくましい日本人～時代に敏感な大人たち～』

こんにちは！ハートフルクリエーションです。

寒さ、空腹、睡眠不足。このうち2つを満たしてしまうと体調を崩す、と言われていたりもします。暖冬と言われている昨今ですが、気を抜かず体調に気を付けていただければと思います。

さて、そんな暖かい気候に負けずとも劣らない、心温まるイベントが最近ありましたね。2/14のバレンタインデー、みなさんはチョコをもらうことはできましたか？

誰もが知っているバレンタインデーですが、そのルーツはローマ時代までさかのぼります。当時のローマ皇帝は、家族や恋人と一緒にいたい、戦争に行きたがらない若者を減らすために、結婚を禁じていました。その状況を憂い、キリスト教司祭のバレンチノ司祭が、2/14の女神Junoの祝日に秘密裏に結婚を執り行っていました。しかしその行いが皇帝に見つかり、処刑されてしまいます。それ以降、2/14はバレンチノ司祭を祀る日となり、14世紀ころを境に恋愛に結び付けるようなイベントとして変化したと言われています。

こうして、恋愛イベントとして変化をしてきたバレンタインデーですが、現在でもどんどん変容していつているようです。日本では1950年ごろ伊勢丹デパートの宣伝で「女性から男性にチョコを送ろう」と提案したことで、バレンタインは女性から男性にプレゼントするものという習慣が定着するようになります。

この時、女性をターゲットにしたのは、①主要な買い物客であったこと②アメリカのウーマン・リブ運動の影響から、女性に恋愛の主導権を、という風潮があった、という2点が理由とされています。

そして時代は進み、2000年ころには、同性同士にチョコを渡すような「友チョコ」という言葉ができます。

「一目で義理とわかるチョコ」のキャッチフレーズで宣伝したブラックサンダーなどはとても有名です。

そして現在、自分への「ご褒美チョコ」として価格が少し高めに設定されたチョコを購入する女性も多くなってきました。

こういった、バレンタインの内容の変化の裏には、時代に応じた人々のニーズの変容に敏感な大人たちの影があるのです。人間も社会もめまぐるしく変化する現代。変容するニーズに敏感になりながら、皆さんに楽しんでいただけるイベントを作り続けて参ります。



2024年2月15日

過去配信のアーカイブはコチラでご覧いただけます！！

<http://heartfulcreation.jp/news/721/>

HEARTFUL NEWS に関するお問い合わせ

ニュース配信チーム：03-5847-1199

※こちらのメールは弊社社員・スタッフがご挨拶させていただいた方へお送りしております

